



こかげのにちじょう⑩

～中一男子の悩み～

鳴海 明敏

11月某日

中1男子のルイ君、今日は女性職員と二人で買い物外出。お父さんから、誕生日に時計を買ったと嬉しそうに自分から報告してくれる。パズルと靴も買ってもらったと、表情良く報告してくれる。

“セカンドストリート“で服を楽しそうに選ぶ。“ドンドンタウン”にも行くが、「今日のドンドンは（品揃えが）ゴミだった」とさらっと言い放つ。長靴が欲しいと話し、来年は使わないかもしれないよと伝えるが、どうしても欲しいようで、通学にも履くとのことで、長靴も購入。

女性職員が、腰が痛いため荷物を運ぶお手伝いをお願いすると、「俺がやる、貸して。そんなんで、運転してたの？」と、気遣いを見せ全部持ってくれる。

“セカンドストリート“で衣類を袋に入れる際、「俺やるよ、俺こういうの得意。実家にいる時は、いつも俺がやってた。卵とか割らないように。お父さんとお母さんは、詰めるの苦手だった。なんでかっていうと、酒飲んでて、上手く詰められなかったから」と話す。女性職員が、「そっか、ルイ君がやってたんだね。お父さんお母さんは苦手なのかもしれないし、お酒飲んでたら、誰でも詰められなくなっちゃうかもね・・・」というと笑っている。

11月某日

同じく中1男子のルイ君。今日は、トレーナーのフードを目深に被って、カウンターにいる女性職員の所に来て、「あいつ、ムカつく！」と訴える。女性職員が、「誰の、何がそうさせているの？」と聞くと、「M（女性職員）さん、髪切るの、下手くそ！」と涙を流しながら訴える。

女性職員が、「思った通りの髪型にならなかったの？」と確かめると、
ルイ：「Y（男性職員）さんにやって貰ったときと、同じにして欲しかったのに・・・」

女性職員：「だからショックなの？」

ルイ：「うん。他の子にも色々言われたし・・・」

女性職員：「色々言われて嫌だったのかぁ？」

ルイ：「うん。」

女性職員：「そっかぁ。髪を上手く切って貰えなくて、悲しいし、腹立つ気持ちもあるし、
ぐちゃぐちゃしてるって感じかぁ・・・」

ルイ：「うん！」

女性職員：「それで、私の所にきたのはどうして？」

ルイ：「どうにか出来ない、この髪？」

女性職員：「上手く切るのは出来ないけど、誤魔化すのはできるかも・・・」

というやり取りをして、女性職員はカウンター内でルイの前髪を整えてあげる。

前髪を整えてあげながらのやり取り。

女性職員：「ところでルイは、Mさんには、直接言えないのか？」

ルイ：「だってMさんに言ったら、悲しむでしょ。」

と思いやりのルイ君。

そういうやり取りをして居る最中に、カウンターにそのMさんが入ってきて、ルイに、「髪
のことで落ち込んでいるのか？」と話しかけるが、ルイ君は無言。Mさんから、「もし、そ
うだったらごめんね！」と直接謝られるも、無言。

Mさんが、カウンターからいなくなり、女性職員から「Mさんが、ごめんって言ってるっ
てことは、髪のことルイが、正直に話してもMさんは、悲しまないんじゃない？」と伝える
と、

ルイ：「そうかもね。言っておいて」と、いつのまにか、いつものルイ君に戻っている。

(了)